【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公表番号】特表2011-528716(P2011-528716A)
【公表日】平成23年11月24日(2011.11.24)
【年通号数】公開・登録公報2011-047
【出願番号】特願2011-520121(P2011-520121)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　47/34　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/045　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/19　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/047　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/55　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4015　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/43　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/46　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/48　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　47/34
Ａ６１Ｋ　31/045
Ａ６１Ｋ　31/19
Ａ６１Ｋ　31/047
Ａ６１Ｋ　31/55
Ａ６１Ｋ　31/4015
Ａ６１Ｋ　31/10
Ａ６１Ｋ　37/48
Ａ６１Ｋ　37/54
Ａ６１Ｋ　37/547
Ａ６１Ｋ　 9/06
Ａ６１Ｐ　27/16

【手続補正書】
【提出日】平成23年6月23日(2011.6.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
耳への鼓室内投与によって耳の疾患の処置の際に使用するための無菌の医薬組成物であって、
前記医薬組成物は、ポリオキシプロピレンとポリオキシエチレンのコポリマーを含む耳に許容可能な熱可逆性の水性ゲルと、耳への徐放が少なくとも３日間起こるような耳の構造体変性剤とを含むことを特徴とする医薬組成物。
【請求項２】

前記耳の構造体変性剤が多粒子の耳の構造体変性剤であることを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記耳の構造体変性剤が微粒子化した粒子を含むことを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項４】
前記耳の構造体変性剤がナノサイズの粒子を含むことを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項５】
前記耳の構造体変性剤が大きさが一定ではない粒子を含むことを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項６】
前記ポリオキシプロピレンとポリオキシエチレンのコポリマーがポロクサマー４０７であることを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項７】
前記耳の構造体変性剤の耳への徐放が少なくとも５日間にわたって起こることを特徴とする請求項１に記載の組成物。
【請求項８】
前記耳の構造体変性剤が骨再構築のモジュレーターであることを特徴とする請求項１乃至７のいずれか１つに記載の組成物。
【請求項９】
前記骨再構築のモジュレーターが破骨細胞または骨芽細胞のモジュレーターであることを特徴とする請求項８に記載の組成物。
【請求項１０】
前記骨再構築のモジュレーターは、ホルモン；ビスホスホネート；マトリックスメタロプロテアーゼインヒビター；アデニリルシクラーゼ（ＡＣ）モジュレーター；プロテアーゼインヒビター；酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ（ＴＲＡＣＰ）のモジュレーター；エストロゲン受容体モジュレーター；ＰＰＡＲγモジュレーター；ＨＭＧ－ＣｏＡ還元酵素インヒビター；スタチン；炭酸脱水酵素阻害薬；核κＢリガンドの受容器活性化因子（ＲＡＮＫＬ）のモジュレーター；ＣＯＸ－２インヒビター；タンパク質プレニル化のインヒビター；５‐リポキシゲナーゼインヒビター；ＴＮＦのインヒビター；ロイコトリエンのインヒビター；サイトカインモジュレーター；ＴＳＧ－６のインヒビター、ＴＧＦβのモジュレーター；一酸化窒素シンターゼインヒビター；アセチルシステイン；および、アロマターゼのモジュレーターから選択されることを特徴とする請求項８に記載の組成物。
【請求項１１】
前記骨再構築のモジュレーターは、ＴＮＦインヒビターであることを特徴とする請求項８に記載の組成物。
【請求項１２】
前記骨再構築のモジュレーターは、サイトカインモジュレーターであることを特徴とする請求項８に記載の組成物。
【請求項１３】
前記骨再構築のモジュレーターは、ＴＧＦβのモジュレーターであることを特徴とする請求項８に記載の組成物。
【請求項１４】
前記骨再構築のモジュレーターは、ＲＡＮＫＬモジュレーターであることを特徴とする請求項８に記載の組成物。
【請求項１５】
前記骨再構築のモジュレーターは、ビスホスホネートであることを特徴とする請求項８に記載の組成物。
【請求項１６】

前記ビスホスホネートは、エチドロネート(ＤＩＤＲＯＮＥＬ（登録商標）)；クロドロネート(ＢＯＮＥＦＯＳ（登録商標）)；Ｔｉｌｕｄｒｏｎａｔｅ(ＳＫＥＬＩＤ（登録商標）)；パミドロネート(ＡＰＤ、ＡＲＥＤＩＡ（登録商標）)；ネリドロネート；オルパドロネート；アレンドロネート(ＦＯＳＦＡＭＡＸ（登録商標）)；イバンドロネート（ＢＯＮＩＶＡ（登録商標）)；リセドロネート(アクトネル（登録商標）)；ゾレドロネート(ＺＯＭＥＴＡ（登録商標）)から選択されることを特徴とする請求項１５に記載の組成物。